

第4回小学生シャフルボード大会

(1月20日、ホワイトキューブ)

シャフルボードは手軽に楽しめるニュースポーツ。今年大会には、小学4年生から6年生まで24名が参加し、楽しく、そして真剣に競技を行いました。



▲楽しみながらも真剣勝負!

第45回新春囲碁将棋大会

(1月28日、中央公民館)

昭和37年から開催されているこの大会は今年で45回目。市内外から7歳から88歳までの63名の棋士が参加し、囲碁と将棋の部に分かれて真剣勝負と世代間交流を行いました。



▲老いも若きも「盤」を挟んだ真剣勝負

第一小学校の児童が車いすを寄付

(1月26日、特別養護老人ホーム「えんじゅ」)

同小の児童6名が標記老人ホームを訪れ、車いす2台を寄付しました。この車いすは、昨年7月と9月に児童会とPTAが実施したアルミ缶回収の収益金で購入したものです。



▲寄付後、入所者と楽しく記念撮影!

環境保全の大切さを子どもたちに

白石蔵王エコフォーラム・出前授業

当市と蔵王町の国際環境規格取得電気系企業7社でつくる「白石蔵王エコフォーラム」が1月31日、越河小学校で出前授業を行いました。



▲酸性雨について説明を受ける子どもたち

授業には同小の4～6年生30名が参加。スライドを使用した地球温暖化や省エネについての説明を受けた後、実験コーナーなどで環境への取り組みの大切さを学びました。

普段の授業とは違った貴重な体験。子どもたちは目を輝かせて環境を守る大切さを学んでいました。

いじめ撲滅への願いを込めて

PSCパトロールがクリアファイルを作製

白石中学校、東中学校、福岡中学校の生徒でつくる自主防犯隊「PSCパトロール」が、いじめ撲滅のスローガンを盛り込んだクリアファイル(A4判)を3,500部作製し、市内すべての小中学生に配布しました。

PSCでは市内企業の協賛を得てクリアファイルを作製し、1月19日に市教育委員会へ寄贈。教育委員会では各校の児童・生徒にこの思いを直接伝えてほしいと、改めてPSCに小中学校への配布を依頼しました。



▲寄贈式に出席したPSCの熊谷さん

新成人の門出を祝って!

手をつなぐ育成会「新成人を祝う会」

1月21日、働く婦人の家において障害を持つ子どもの親たちでつくる「白石市手をつなぐ育成会」が、今年成人を迎えた皆さんを招き、新成人を祝う会を開催しました。

会では、会員とその家族の皆さんで人生の節目の門出を祝い、新成人を囲んで、出席者全員での記念撮影を行いました。

また、風間市長をはじめ出席した多くの来賓の皆さんからお祝いの言葉をいただくと、新成人たちは素晴らしい笑顔を見せていました。



▲成人を祝って全員で記念撮影

地域の皆さんと楽しく交流!

鷹巣冬まつり「もちつき大会」

1月21日、鷹巣地区の「観福寺」において、鷹巣冬まつり「もちつき大会」が開催されました。



▲もちつきを体験する子どもたち

日本の伝統文化を体験しながら、お年寄り子どもたちがふれあうことを目的に2年前から開催しているこのまつりも、今年で3回目。

まつりには多くの子どもたちが集まり、昔ながらのきねとうすでのもちつき体験のほか、昔の遊びをお年寄りと一緒に楽しむなど、笑顔があふれていました。

満100歳を祝福しました

古山カチエさんに松竹梅敬老祝金

1月30日に満100歳の誕生日を迎えた古山カチエさん(大平森合)宅を風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金100万円を贈り、長寿を祝福しました。



▲くよくよしない性格で慕われているカチエさん

市内大平ご出身のカチエさんは、中斎川出身で大阪に出稼ぎ中だったご主人に嫁ぎ、大戦の激化とともに当市に戻られました。若いころから縫い物が得意だったカチエさん。数年前までは、時間さえあれば草むしりや畑仕事などに精を出していました。

朗読とピアノの夢のコラボレーション

朗読と音楽のコンサート

1月13日、ホワイトキューブにおいて、第14回白石市生涯学習フェスティバル事業である「朗読と音楽のコンサート」が開催されました。

翻訳やエッセイなど、さまざまな分野で活躍されている詩人の谷川俊太郎さんと、テレビ番組などの主題歌の作曲も手がけているピアニストの谷川賢作さんの親子によるコンサート。俊太郎さんの詩の朗読と、賢作さんのピアノが奏でるハーモニーが、会場に詰めかけた多くの皆さんの心に染み渡りました。



▲親子ならではの楽しいトークも

風間市長の「虫のサンシャイヤキ」友

1月中旬に、姉妹都市の豪州ハーストビル市からスチュアートさん・ジョイスさんご夫妻が来白しました。聞くところによると、ご夫妻の自宅には中学生をハーストビル市に派遣した際、引率の先生や職員がホームステイさせていただいていたとのこと。それも第2回目の平成7年から連続で引き受けていただいていたそうで、大変お世話になっているご夫妻です。

私は昨年ハーストビル市訪問の折にご主人のスチュアートさんとはお会いしましたが、その時はまだこのことを知りませんでした。奥さんの話によると、ご夫妻の家に泊まった人たちは皆さん素晴らしい、好奇心旺盛で責任感が強い人たちだったそうです。そして何より「身振り・手振り」での意思疎通はピカイチ!(笑)だった

ようです。そのご夫妻にお世話になった方々が、10日間の滞在の中で、宿泊パーティーから日々のガイド、宿泊、さよならパーティーまで、背伸びすることなく時間を調整し合い、協力しながら歓迎したようです。市内の観光施設の見学や茶席体験、スキー場での雪の初体験、カウンター居酒屋での食事や温泉旅館での宿泊など、さまざまな企画を計画実行したようですね。単なる観光旅行ではなく「衣・食・住」体験型の滞在だったようですよ。さよならパーティーの折、ご夫妻

「友」とは、常に親しく交わる仲間や、志を同じくする人のことです。この漢字は、かばうように曲げた手を組み合わせたもので、かばい合い、仲良く助け合うさまを表しています。昨年から中学生のハーストビル派遣人数を8名から12名に増やしました。多感な時期に異国文化を体感し、視野を広げてもらうために門戸を広げたのです。これは、当市在住の中学生の特権ですので、機会があればぜひ体験し、友情の輪を広げてほしいと思います。

ところでこのご夫妻、年齢は70歳超。白石に来る前に英国ロンドンに1カ月滞在し、帰国する途中で当市に寄ったとのこと。その後、関西方面を旅してから帰国したそうです。バカンスと日本の休暇の違いを見せつけられました(泣)。話は変わりますが、亜米利加はアメリカ、英吉利はイギリス、では①埃及、②越南、③濠太刺利、④秘露、⑤和蘭はどここの国名? 【2月号の答え】古代人は、猪の土偶を作ったんだくさんと豊作を祈り、牙をペンダントとして首から提げ、その勇猛さにあやかりました。豚は猪が家畜化されるうちに品種化していった動物で、猪豚は豚と猪を配合したものです。